

## 活動報告 外部研究評価委員会

平成25年度第2回外部研究評価委員会を平成26年2月18日(火)に開催しました。

当委員会は、研究等を効果的かつ効率的に行うため、外部から招いた専門家の先生から、研究内容に関する意見やアドバイスを頂くものです。評価は、「事前評価」、「中間評価」及び「事後評価」の3段階で行われます。

今回は、新規研究2件、継続研究5件の平成26年度研究計画について事前評価を行いました。評価の結果は、当研究所ホームページにも掲載しますのでご覧ください。



外部研究評価委員会の様子

<http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>

## 活動報告 中学生職場体験



湧水の採水体験

2月4日・5日の2日間、江東区立大島中学校2年生2名の「職場体験」の受入れを行いました。初日は、当研究所の概要、職場体験での心構えについて話を聞いたのち、昭島市と国立市の湧水の現場に向かい、湧水発生仕組み、湧水と地域の関わりや、採水する目的などについて説明を受けながら、湧水を実際に採水する作業を体験しました。

2日目は研究員の指導により、はじめに大腸菌類の群数や個数を数える作業を行いました。その後、水中の浮遊物質分析の意義などについての説明を受けながら、都内の運河等で採取した水に含まれる浮遊物質の抽出作業の体験をしました。

生徒の皆さんからは、「授業で習ったことをより深く知ることができて良かった」などの感想が寄せられました。

## TOPIC

## 東京都・北京市 大気保全ワークショップ来訪

平成25年10月30日から11月1日の日程で、『東京都・北京市 大気保全ワークショップ』が開催され、関係者が当研究所の視察に訪れました。

当研究所の視察は、大気環境対策の研究に取り組む現場の見学、実務担当者間の情報交換を目的に、プログラムのひとつとして企画されたものです。10月31日に北京市環境保護局副局長をはじめ、6名の実務者が当研究所を訪れ、シャンドンダイナモメータによる自動車排出ガス試験の現場視察や東京のPM<sub>2.5</sub>、揮発性有機化合物(VOC)など、大気環境に関する調査研究の具体的な取り組み紹介のほか、東京都の技術職員、当研究所の担当研究員を交えた実務者間の情報交換が行なわれました。



大型車シャンドンダイナモメータ  
視察の様子